

群馬県立吉井高等学校 学校評価一覧表 (令和7年度版)

(別紙様式)

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価	
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等				総合
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 総合学科の特色を生かした教育活動を行っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 系列ごとの多様な選択科目や、少人数制の授業形態に満足している生徒が80%以上である。 「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」をとおして、社会（地域）貢献や働くこと、深く学ぶことに興味をもつ生徒が80%以上である。 	<ul style="list-style-type: none"> 系列の特色を明確にするとともに、生徒の学習意欲の向上を図るために、少人数指導をはじめとした様々な授業形態の工夫を行う。 生徒が地域や社会に興味をもち、主体的にキャリア形成できるよう、地域関係機関等と連携し、学校外の資源を活用した教育活動を充実させる。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 93%の生徒が多様な選択科目や少人数制授業に満足している。各教科で、生徒の実態や社会状況を踏まえて、工夫した授業展開が行われている。各教科で行われている工夫を情報共有する場を設定したり、新たな取組に発展させたりできるような機会を創り出したい。 85%の生徒が社会貢献や地域に興味を持てると回答した。各学年の発達段階に応じて、地域社会との接点を持った探究活動を行うことができた。地域をフィールドとした探究活動を、本校の特色として今後も推進していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の研究内容をわかりやすくまとめ、プレゼンテーションをしっかりとした態度でできていた。ここに探究活動を推進している本校の特徴があり、この教育活動を継続して行ってほしい。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 授業中に自分の考えを説明したり発表したりする機会があると感じている生徒が70%以上である。 意欲的に学習に取り組んでいると自己評価している生徒が80%以上である。 総合探究や課題研究などの探究・発表活動に取り組み、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を身につけていると感じている生徒が80%以上である。 	<ul style="list-style-type: none"> 知識・技能を高めるとともに、思考力・表現力等の資質・能力を育成することを意識した授業を行い、学期末の授業アンケートでその成果を検証する。 主体的に学びに向かい、生涯にわたって学び続けようとする姿勢を醸成するために、学習内容と社会生活とのつながりを意識させた授業を実践する。 探究活動において、生徒のアウトプットの機会を複数回設定したり、外部への発信機会を設けたりする。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 知識・技能を高め、主体的に授業に取り組み、思考力等を育成できる工夫を行うことができている。発表の機会を増やす工夫をしているが、さらに表現力を高められる方策に取り組んでいきたい。 教職員は60%程度が生徒が意欲的であると感じているのに対し、80%以上の生徒が意欲的に取り組んでいると回答している。生徒の意欲が最大限に生かせるように、魅力ある授業改善を目指していきたい。 87%の生徒が、探究活動や発表活動に取り組み、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力が身につけていると回答している。今後も継続して、生徒のアウトプットの機会を設けていきたい。 		
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 生徒は安心して、充実した学校生活を送っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止への取組を理解・確認している生徒・保護者が90%以上である。 学校生活や部活動が充実していると感じている生徒が85%以上である。 	<ul style="list-style-type: none"> PTA総会や三者面談・Webページを利用し、いじめ防止の取組を周知させる。 行事や部活動の在り方を検証するため、学校行事ごとの振り返りや生徒・保護者向けアンケートを実施する。 	B	C	C	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止への取組に関しては、80%以上の生徒の理解を得られたが、保護者の回答では63%の理解であった。今後は、保護者への周知をいろいろな場面で増やし理解を得たい。いじめのない学校づくりのために、生徒が主体にいじめ防止を広げる活動へのサポートの充実と安心・安全に登校できる学習環境の整備を目指したい。 生徒、保護者共に学校生活や部活動が充実していると感じている割合は82%を超えている。次年度はさらに、部活動や学校行事の充実に向け、生徒が積極的に参加できる環境作りに努めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめについて、特に迅速に手厚い対応をしてほしい。他県では動画により被害が発覚している状況があるので、具体的方策が急務である。生徒たちのためによりしくお願いしたい。 	
		5 交通規則を守り、交通事故を起こさないようにさせていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故発生件数が年間を通じて5件以内である。 自転車通学者のヘルメット着用率を100%とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域や保護者の意見を参考にし、「危険箇所マップ」を作成し活用する。 自転車通学者に対し、ヘルメット着用について声掛けを継続させる。 	B	B	B		<ul style="list-style-type: none"> 交通マナーの向上と交通事故未然防止について「危険箇所マップ」を掲示し注意喚起を行ってきた。又、「命を守る行動」としてヘルメットの着用について指導を継続し、着用率は90%を超えている。次年度に向けては、道路交通法の改正に伴い、令和8年4月1日より自転車の交通違反でも反則切符が適用されることを受け、周知と指導の徹底を実施していきたい。
		6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 社会規範や校則を守ろうと努めている生徒が80%以上である。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活委員生徒が朝のあいさつ運動等を利用して、生徒自らが規則や校則を守れるよう声かけを実施する。 	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> 97%の生徒がルールを守っていると回答している。今後は校則の見直しなど生徒の意見を取り入れながら、生徒の規範意識向上に向けて取り組みたい。
IV 生徒が心身ともに健康で安全な学校生活が送れるように適切な指導をしていますか。	7 生徒はコミュニケーション能力を高め、良好な友人関係構築に努めていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 友人とのコミュニケーションに気を配り、交友関係がうまくいっていると感じている生徒が85%以上である。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションスキルを向上させるための講演会やホームルーム活動を実施する。 アンケートや心理検査により生徒の悩みを早期に発見し、教育相談係・スクールカウンセラーを積極的に活用した早期対応を図る。必要に応じて医療機関との連携を図る。 	B	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者共に交友関係は良好であると90%以上の回答があった。現在は学校全体が落ち着いている状況である。 次年度も学期ごとのアンケートからの生徒観察による情報を職員間で共有して、早期に対応できるよう努めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 最近の若者は、環境の変化に対応しきれなくメンタルが弱い人が多い。たくましく生きていく力を是非、育ててあげてほしい。 	
		8 生徒は心身の健康管理に気をつけて学校生活を送っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 心身の健康管理に気をつけている生徒・保護者が80%以上である。 	<ul style="list-style-type: none"> 欠席者記入プリント、遅刻カード、保健連絡カード等を活用し、欠席や遅刻、保健室利用の多い生徒を早期に把握し、その要因を模索するとともに、生活習慣の振り返りを促す対応をする。 保健委員会活動の活性化を通して、全校生徒が自身の健康管理意識を高められるよう働きかける。 	B	A	A		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の93%、保護者の86%が、心身の健康管理に気を付けて生活していると回答している。今年度は特定の生徒の保健室利用が多く、遅刻及び欠席も同様の状況であった。また感染症の流行時期の学級閉鎖もあった。引き続き関連職員との連携を図り、生活習慣の改善に繋げていきたい。 学校保健委員会の研究テーマとして「困難に直面しても立ち直る力を育てよう」を挙げた。行事ごとに発表を行い、全校生徒への周知と共に、心の健康意識向上へ繋げた。
		9 就職・進学に対応した計画的な指導を行っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 年度末の進路決定生徒が95%以上である。そのうち、生徒の第一志望への進路決定が80%以上である。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別の具体的な進路目標を低学年のうちから決定させるために、年間3回の面談や模試の振り返り指導、校内・校外ガイダンスへの参加を促す。 	B	B	B		<ul style="list-style-type: none"> 科目や系列選択前から逆算し、適性検査、職業調べ、学校調べ校内ガイダンスと順序だてて授業の内容を組み立てることができた。4月実施の進路希望調査では1、2年生の進路未定が両学年ともに17%であったが、9月実施の結果は1年が19%、2年が3、1%と改善が見られた。
V 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	10 学力や学習意欲を高める取り組みを行っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 第1回の基礎力の結果と第2回のテスト結果を比較して、学習到達度が向上した生徒が70%以上である。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習意欲を高めるために、定期的に学年ごとの学力検討会を実施し、学習意欲向上への取組の具体的な方策を確認し、個別面談を行う。 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 今年度学習ツールを計画的に実施し、4月と9月での外部試験結果の比較では学力向上傾向が見られた。また、朝読書の時間では興味のあるニュースや最新のニュースを定期的に読ませることで自身の将来やりたいことを想像させることができた。 		
		11 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	<ul style="list-style-type: none"> PTA会報を年2回発行し、内容に満足している保護者が80%以上である。 Webページを閲覧している保護者が70%以上である。 	<ul style="list-style-type: none"> 編集委員会の活動を活性化し、保護者の意見を取り入れ会報の内容を充実する。 日々の生徒の活動の様子を積極的にWebページに掲載していく。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> PTA会報誌の内容に満足している保護者が81.9%であった。目標は達成された。次年度は100%に近づけるように内容を再考し、取り組んでいきたい。 ホームページを閲覧している保護者が53%であった。生徒目線でのブログやSNS発信を進める必要がある。ホームページに加えて、SNSを活用した広報も考えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 本校は様々な活動をしている。是非、外部に向けてPRしてほしい。
VII 教育デジタル化に努めていますか。	12 ICTを活用した指導を行っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> オンラインを利用して、生徒と外部との交流を年3回以上実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科や「総合的な探究の時間」の指導において、オンラインによる交流を含め、積極的に外部との交流機会を増やす。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な探究の時間に、企業の方とオンラインでの打合せを実施した。企業の方の都合などにより、対面やオンラインでの使い分けを行うことができた。各教科の学習についての具体的な活用方法を確立していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒はPCを使いこなして、学習に活かしている。 	
		13 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した調査やアンケートに、生徒・保護者の70%以上が満足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒向けの調査や学校評価アンケート等をICTを活用して実施する。 	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者ともに、85%以上が満足していると回答している。個人情報の取り扱いには十分注意し、引き続きICTの活用を推進していきたい。